

第14回長崎サミット 参考資料2

(長崎都市経営戦略推進会議における事業の進捗を定性的に整理したもの)

- 1 主要施策ごとの進捗状況・方向性
- 2 第13回長崎サミット以降の動き

主要施策ごとの進捗状況、方向性

| 《 全体的な項目 》 | | |
|-----------------|--|--|
| | 進捗状況 | 方向性 |
| 運営体制の強化 | <ul style="list-style-type: none"> ○長崎サミットの開催 <ul style="list-style-type: none"> ・H21.7 第1回開催 ・H29.2 第14回開催 ○長崎都市経営戦略推進会議開催 <ul style="list-style-type: none"> ・年9回程度開催 ・H29.1 第58回開催 ○ワーキングチーム（WT）の活動 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹製造業関連 <ul style="list-style-type: none"> 客船の連結建造支援については終了 ・地場中小企業対策 <ul style="list-style-type: none"> 工業会の活動につなげる。 ・産学官連携WTの活動テーマとして、工業高校生の地元企業への就職促進の実績等を踏まえ対象範囲を大学生に広げて検討 ・「魚の美味しいまち長崎WT」の組成 ○発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・マーケット対策WTにおけるアンテナショップ設置の要望、県との意見交換 ・アンテナショップ開設（H28.3） ○長崎市版DMOの設置 <ul style="list-style-type: none"> ・「長崎市版DMO設立推進協議会（仮称）」の設置提言（H28.2） | <ul style="list-style-type: none"> ○ワーキングチーム（WT）の活動の見直し <ul style="list-style-type: none"> ・基幹製造業WTの活動テーマを、造船・海洋産業の人材育成・研究開発拠点整備の調査・検討に見直し（H28.11） ・「魚」と「観光」を結びつけることによる新たな観光商品、魚のブランド再構築、水産物の消費等の拠点整備を「魚の美味しいまち長崎WT」で調査・検討 ○発信力の強化 <ul style="list-style-type: none"> ・アンテナショップ開設を受けた企業等による積極的な活用 ○人材育成・定着等地域経済の振興に資するための資金支援等の体制・受け皿の強化について法人化も含めて検討 ○観光地域づくりの舵取り役（長崎市版DMO）設置 <ul style="list-style-type: none"> ・「長崎市版DMO」について、必要に応じてWTで調査・検討 ○長崎サミットの活動が地方創生に関する特徴的な取組として内閣府から選定（H29.1） |
| | 主な関係機関 | |
| 推進会議、経済団体、行政、大学 | | |
| 世界遺産 | <ul style="list-style-type: none"> ・明治日本の産業革命遺産登録を対外発信するための年賀状キャンペーン展開（H27.11～12） | <ul style="list-style-type: none"> ○「長崎と天草の潜伏キリシタン関連遺産」のH30年度登録を目指す。 |
| | 主な関係機関 | |
| 推進会議、県、市、関係団体 | | |
| 新幹線 | <ul style="list-style-type: none"> ・数次にわたる要望活動 ・関係機関との情報交換 ○武雄温泉駅での対面乗換方式による平成34年度開業で合意（H28.3） ○FGT車両の不具合が改善されず、H29.6の技術評価委員会で耐久走行試験を再開できるかを判断 | <ul style="list-style-type: none"> ○サミットプロジェクトにおける基本的な立場 ・H34年度の山陽新幹線への直接乗入による開業効果の最大化 ・県等の関係機関から情報を収集しつつ、関係機関と一体となって必要な活動を展開 |
| | 主な関係機関 | |
| 推進会議、県、市、関係団体 | | |

| MICEの推進 | 進捗状況 | 方向性 |
|-------------------------|---|--|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○MICE誘致推進協議会設置 (H26.8) ・MICE講演会、MICE研修会、新聞意見広告掲載 ○MICE推進を確認【推進会議】 (H26.10/H27.7) ○交流拠点用地について、MICEを中核とした施設とする活用方針が示された。(H28.3) ○市議会でMICE施設を建設・運営する業者の公募選定費用に係る予算を可決 (H28.12) ○MICE開催に伴う業務の受注拡大を図るための関係事業者によるネットワークの形 (H28.11) | <ul style="list-style-type: none"> ○MICE施設等の開業(H31.11予定) ○各機関によるMICE誘致への取組 ・誘致に必要な活動資金を民間において調達 ○MICE開催に伴う業務に多くの地元企業等が参画できる体制づくり |
| | 主な関係機関 | |
| MICE誘致推進協議会、市、推進会議、関係団体 | | |

| 《 基幹製造業 》 | | |
|------------------------|--|--|
| ながさき海洋・環境産業拠点特区の活用 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○特区について、3つのワーキングにより課題を抽出し、国と協議 ○長崎海洋産業クラスター形成推進協議会を設立 (H26.3発足) ○海洋再生可能エネルギー実証フィールドに県内3海域選定 (H26.7) ○数値目標 (1) 県内造船所による高付加価値船・省エネの建造量 目標:220万総トン(H29年度) 実績:205万総トン(H27年度、進捗度99%) (2) 県内造船所によるバラスト水処理装置の取扱件数 目標:100件(H29年度) 実績:36件(H27年度、進捗度75%) (3) 県内造船所が建に携わったあるいは設置された海洋再生可能エネルギー利用発電設備の総設備容量 目標:30MW(H29年度) 実績:9MW(H27年度、進捗度300%) | <ul style="list-style-type: none"> ○地域ワーキンググループを中心に課題を抽出し、国と協議 ○特区の継続を検討中 ・継続された場合においては、造船・海洋関連人材育成等に特区を活用できないか検討 |
| | 主な関係機関 | |
| 基幹製造業振興ワーキングチーム、県、市、企業 | | |
| 基幹事業所との連携推進 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○大型客船建造に係る宿舍・倉庫等の確保支援 (H23～) ○客船建造等に係る情報収集 ○基幹製造業合同説明会開催 (H23～) ・H28.11.15 第6回基幹製造業合同説明会開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○大型客船連続建造の終了により支援活動を終了 ○基幹製造業合同説明会の一環として、工業高校生、大学生による基幹製造業の工場見学実施 (H29.2) |
| | 主な関係機関 | |
| 基幹製造業4社 | | |

| | | |
|------------------------------|--|--|
| 造船業の競争力の維持・発展 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○造船・海洋関連産業の人材育成・研究開発拠点整備をテーマとしたWTを設置（H28.11） ・必要な造船関連人材の調査を実施 | <ul style="list-style-type: none"> ○WTにおいて、H31年度に造船・海洋人材育成、研究開発拠点の整備に向けた調査・検討 |
| 主な関係機関 | | |
| 推進会議、関連企業、国、県、市、大学等教育機関 | | |
| 地場企業の競争力強化への支援 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○戦略産業雇用創造プロジェクト指定（H25.7） ・H25～27の雇用創出 目標：1,089人 実績：1,165人 ○長崎工業会、長崎工業高校の地場企業就職促進への取組 ・県内企業への就職率 H27.3卒…34%（78人）→ H28.3卒（H27.12末内定状況）…53%（126人） ・上記の実績を踏まえ、大学生の地元企業就職促進策を検討 | <ul style="list-style-type: none"> ○基幹製造業WTにおいて、中小造船業等の競争力強化等につながる人材育成策等について調査・検討 ○長崎県内の工業会と工業高校が連携し、地場企業就職促進への取組を強化 |
| 主な関係機関 | | |
| 地場企業振興ワーキングチーム、工業会、県、市、商工会議所 | | |

| | | |
|--------------------------------------|--|---|
| 《 観 光 》 | | |
| おもてなしの充実・推進 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○アダプトプログラムへの参加促進 ○「おそうじさるく」への参加促進 ・13団体・企業が参加 ○おもてなしの強化、インバウンド対策を検討 ・きれいなまちづくり ・案内板の設置 ○Wi-Fi、情報発信・提供のためのアプリ等について、WTにおいて勉強会を実施（H27.12） ○「長崎県総おもてなし運動推進会議」設置（H24.3） ・運動強化のスタートアップを確認（H28.8サミット） | <ul style="list-style-type: none"> ○おもてなし日本一の長崎県を目指した「長崎県総おもてなし運動」の強化 ・「ワンランク上のおもてなし活動」を支援 ○アダプトプログラムへの参加企業拡大のための啓発・広報活動 ・市全体での展開を目指す ○「おそうじさるく」への企業参加の呼びかけ ・コンベンション協会と促進策について協議し、対応を検討 |
| 主な関係機関 | | |
| おもてなしの飛躍的向上ワーキングチーム、長崎県総おもてなし運動推進事務局 | | |
| 情報発信の充実・強化 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○東京日本橋に県のアンテナショップ「日本橋長崎館」開設（H28.3） | <ul style="list-style-type: none"> ○アンテナショップの開設を受け、関係企業等の積極的な活用促進 |
| 主な関係機関 | | |
| マーケット対策ワーキングチーム、県 | | |

| まちの魅力づくり | 進捗状況 | 方向性 |
|--|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長崎の「和」のシンポジウム開催 (H25.10) ○長崎の「和」を磨くワークショップ開催 (H26.2) ○長崎歳時記「暦」の作成 (2014年版、2015年版) 等 | <ul style="list-style-type: none"> ○まちぶらプロジェクトの推進 |
| | 主な関係機関 | |
| 観光資源の再構築ワーキングチーム、市、企業、市民 | | |
| 夜景観光の推進 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○長崎夜景プロモーション実行委員会設立 (H25.9) ○総文祭、団体、ねんりんピック等の開催時における光のおもてなしの実施、稲佐山電波塔をライトアップ、夜景観賞を呼びかけるチラシの作成・配布 ・電波塔ライトアップについては、市において予算化 ○「長崎夜曲」の制作、プロモーション、楽譜配布、映像と組み合わせたPRの実施 ○「年賀状で長崎夜景をアピールすうで」キャンペーンの実施 (275,000枚販売) ○市タクシー協会に対し、夜景を組み込んだコースの設定を要請。協会において対応 ○視点場の整備 (鍋冠山、稲佐山) ○「全国商工会議所きらり輝く観光振興大賞」受賞 (H28.7) | <ul style="list-style-type: none"> ○夜景の観光資源としての定着 ・夜景観光の魅力の向上 ○プロモーションに係る積極的な広報 ○市民に根付いた活動を目指す。 |
| | 主な関係機関 | |
| 長崎夜景プロモーション実行委員会、長崎国際観光コンベンション協会、長崎商工会議所青年部、市、関係団体 | | |

※観光関連のWTについては、「交流の産業化」、長崎市版DMOに関連するテーマを検討

| 《 水 産 》 | | |
|--------------------------------|--|---|
| 水産練り製品の販路拡大 | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○「長崎かんぼこ王国」、「長崎かんぼこ王国推進委員会」設立 ○長崎おでん、ちゃポリタン、出島揚げの販売、おでん電車の運行等「かまぼこの日」関連イベント開催 | <ul style="list-style-type: none"> ○「長崎かんぼこ王国」の他地域と連携した広域的な活動 ○対外的な販売促進強化 |
| | 主な関係機関 | |
| 長崎かんぼこ王国推進委員会、市 | | |
| 水産分野への新たな対応 「食と観光」等を踏まえた | 進捗状況 | 方向性 |
| | <ul style="list-style-type: none"> ○水産3研究機関 (西海区水産振興センター等) を視察 ○「魚の美味しいまち長崎」WT組成 (H27.8) ・「魚の美味しいまち長崎 海の幸グルメクーポン」を発売 (H28.12) | <ul style="list-style-type: none"> ○WTにおいて、「魚」ブランドの再構築、拠点施設の設置について検討。 |
| | 主な関係機関 | |
| 魚の美味しいまち長崎ワーキングチーム、県、市、大学、関係団体 | | |

| 長崎の水産の競争力強化等 | 進捗状況 | 方向性 |
|------------------|----------------------------------|--|
| | ○長崎大学海洋未来イノベーション機構の設置 (H28.4) | ○長崎県の水産の競争力を高めるためのWIT の設置の検討 ・ブランド力強化、海洋観光、海洋・水産 研究者・技術者育成等 |
| | 主な関係機関 | |
| 県、市、大学、関係団体、推進会議 | | |

| 《 大 学 》 | | |
|---|---|---|
| 留学生 3000 人体制の 推進 | 進捗状況 | 方向性 |
| | ○長崎留学生支援コンソーシアムを設立 (H25.2) ・長崎留学生支援センターにおいて対策を実施 ・中国長崎同学会設立 (H26.8) 卒業生のネット ワーク構築 ○H27年度「住環境・就職支援等受入れ環境の 充実事業(文科省)」に採択 | ○長崎留学生支援センターの財政面の安定化 等体制強化に向けたスキームの検討 ・留学生の住環境・就職等受入環境等の充実 に向けた支援体制強化 ○トビタテ！留学 JAPAN 日本代表プログラム 長崎県 長崎ブレイクスルー(長崎グロー カル人材育成)プロジェクト実施 |
| | 主な関係機関 | |
| 留学生受入体制の充実ワーキングチーム、長崎留学生支援センター、長崎留学生支援コンソーシアム、県、市、経済団体等 | | |
| 産学官連携の 推進・卒業生 の地元定着 | 進捗状況 | 方向性 |
| | ○新メンバー、新テーマで産学官連携ワーキング チームを再スタート (H26.12) ・工業高校生の地元就職率向上に取り組む ・長崎工業会の長崎工業高校への地場企業就職促 進の取組 県内企業への就職率 H27.3卒…34%(78人) → H28.3卒 (H27.12末内定状況)…53%(126人) ○「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業 (COC+)」に長崎大学が採択(H27.9) ○県において「長崎県産業人材育成産学官コンソ ーシアム」を設立し、11のワーキングで検討 を開始(H27.7)。H28年度から8ワーキングに 集約 ○大学のCOC+への取組、県の長崎県人材育成 産学官コンソーシアム会議における議論が行わ れている中で、県内企業に就職・定着する人材 の育成を産学官が一体となって推進する体制 (「長崎県人材育成機構」、「地方創生人材育成 基金」等)について提言(H28.2サミット) | ○県において、長崎県産業人材育成産学官コ ンソーシアムでの議論を踏まえ「長崎県産 業人材育成戦略」を作成 ○長崎工業高校の取組を支援し、併せて他の 工業高校への拡大を図る。 ○H28年度より、大学生に的を絞った県内就 職率向上への取り組みを強化(COC+と の連携) ・長崎県がH28/3に立ち上げた「Nナビ」の 積極活用を推進 |
| | 主な関係機関 | |
| 産学官連携ワーキングチーム、長崎県インターンシップ推進協議会、県、市、大学、経済団体等 | | |

第14回長崎サミット 参考資料3

(長崎都市経営戦略推進会議における進捗状況を定量的に整理)

- 1 長崎都市経営戦略推進会議における事業進捗状況等
- 2 長崎サミットプロジェクト進捗・評価
- 3 4分野における主要項目の進捗状況

長崎都市経営戦略推進会議における事業進捗状況等

【全般】

○1人当たり名目GDP（長崎地域）

2015年度推計 345万円（2008年度 326万円 2020年度目標 331万円）

※足もと上振れで推移するも、人口減少が続いており、今後のGDPの減少が懸念される

【基幹製造業】

○基幹製造業本体（基幹4社）の生産規模

2015年度 4,384億円（2008年度 5,160億円 2020年度目標 5,160億円）

○地元企業の受注率

2015年度 44.5%（2008年度 44.0% 2020年度目標 54.0%）

※水準維持は高いハードル

【観光】

○観光客数（長崎市）

2015年 669万人（2008年 556万人 2020年目標 700万人）

○宿泊者数（長崎市）

2015年 288万人（2008年 246万人 2020年目標 350万人）

○観光消費額（長崎市）

2015年 1,368億円（2008年 865億円 2020年目標 1,300億円）

※追い風で観光客数増も、宿泊客増加に課題

【水産】

○水産練り製品の販売・生産額

2015年 78億円（2007年 60億円 2020年目標 120億円）

※急がれる販売体制強化、新たな柱づくり

【大学】

○長崎工業高校卒業予定者（2016年3月）の地元企業就職率

53%（前年度 34%）

※工業会、工業高校の多様な取組が奏功。今後、他の校種、大学への対策強化

○留学生数

2016年5月 1,412人（2008年5月 1,418人 2020年度目標 3,000人）

（日本語学校含めると1,819人、秋入学・短期留学は未集計）

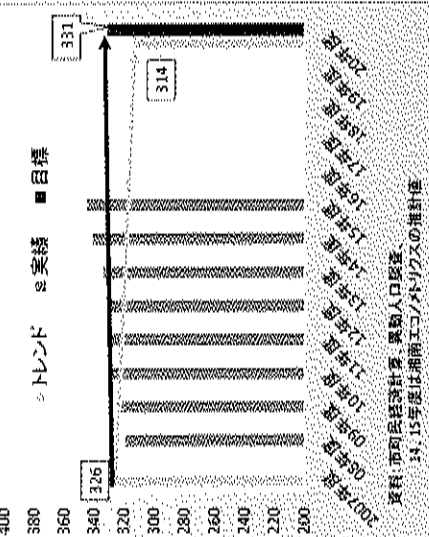
※留学生支援センターの体制強化、留学生の住環境・就職等受入環境の充実に向けた支援体制強化が必要

全 體

【進捗状況・評価】
 ○1人当たりGDP(長崎地域)
 2015年度推計 345万円 (2020年度目標331万円)
 → 1人当たりのGDPは足もと上ぶりで推移、人口減少続き、今後のGDP減少が懸念される

【今後の主な活動(予定)】
 ○着実に成果につなげるための体制構築
 ・推進会議への資金支援協議会の充実強化(法人化)、サミットプロジェクト関連事業への支援窓口一本化
 ○MICE誘致、MICE関連ビジネスへの参入促進
 ○新幹線の開業等を促したまちづくり

1人当たりGDP(名目)のトレンド・目標・実績



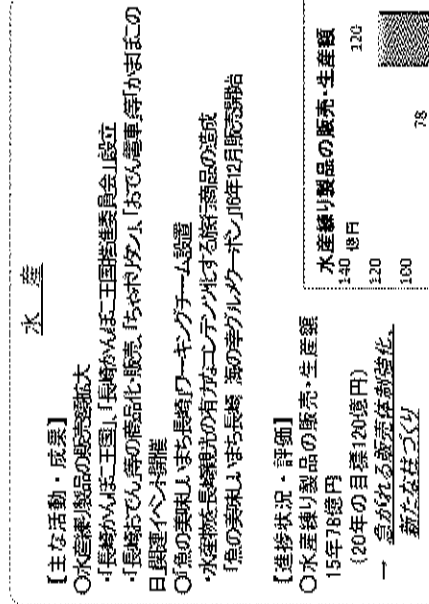
基 礎 産 業

【主な活動・成果】
 ○客船等高付加価値船舶の建造態勢への支援(船庫・船舎等の確保、等)
 ○ながさき海洋・環境産業拠点特区指定
 ○海洋再生可能エネルギー実証フィールドの本県海域指定

【進捗状況・評価】
 ○基礎製造業本体の生産規模
 15年度(4社グループ) 4,384億円
 (20年度目標 5,160億円)
 ○地元企業の受注率
 15年度 44.5% (20年度目標 54.5%)
 → 水産産出高は高いハードル

【今後の主な活動(予定)】
 ○海洋再生エネの実証から商用化を
 実現した産業集積づくり、各種プロ
 ジェクトへの地域企業の参画支援
 ○ながさき海洋・環境産業拠点特区
 を活用した、造船・海洋にかかわる
 人材育成・研究開発拠点の整備

基幹製造業の生産高と地元受注率



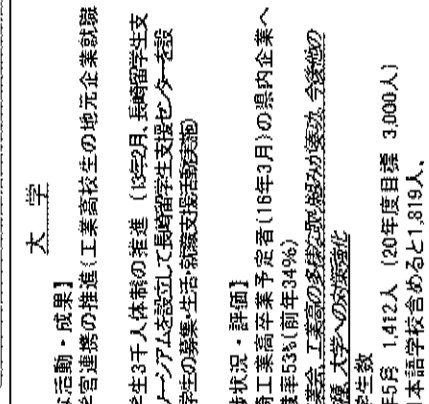
観 光

【主な活動・成果】
 ○夜景観光の推進(おのぼり、電波塔ライトアップ、長崎駅前制作、等)
 ○おのぼりのお祭り(タブレットプログラム、おのぼりさんの推進、多言語観光案内、等)
 ○情報発信の充実強化
 (県アンテナショップ設置(16年3月、東京))

【進捗状況・評価】
 ○観光客数(15年、長崎市)
 669万人、宿泊288万人
 (20年の目標 700万人、宿泊350万人)
 ○観光消費額(15年) 1,368億円
 (20年の目標 1,300億円)
 → 追い風で観光客も、宿泊客増加に課題

【今後の主な活動(予定)】
 ○「長崎市版DMO」の創設
 ○「おもてなし日本一」を目指し、ワンランク上のおもてなしを实践

長崎市の観光消費額



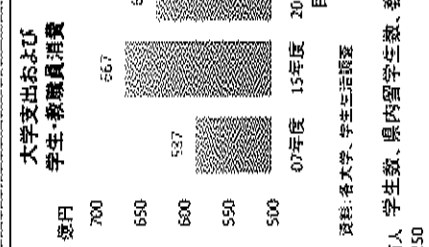
大 学

【主な活動・成果】
 ○産学官連携の推進(工業高校生の地元企業就職促進)
 ○留学生3千人体制の推進(15年2月、長崎留学生支援センターを創設して長崎留学生支援センターを設
 置、留学生の就業・生活・就職支援活動実施)

【進捗状況・評価】
 ○長崎工業高卒業予定者(16年3月)の県内企業への就職率53%(前年34%)
 → 工業高、工業高の多様な取組みが顕著、今後他の
 高校、大学への波及強化
 ○留学生数
 16年5月 1,412人 (20年度目標 3,000人)
 (日本語学校を含めると1,819人、
 支援センター、短期留学は未集計)

【今後の主な活動(予定)】
 ○住環境・就職支援等受入環境充実事業、長崎ブ
 レースルール(グローバル人材育成)事業等による
 留学生の活用・定着の推進
 ○県内企業に就職・定着する人材育成への産学官
 一体となった取り組み(FOG+J、「Nなび」の活用
 促進、等)

大学支出および学生・教職員消費



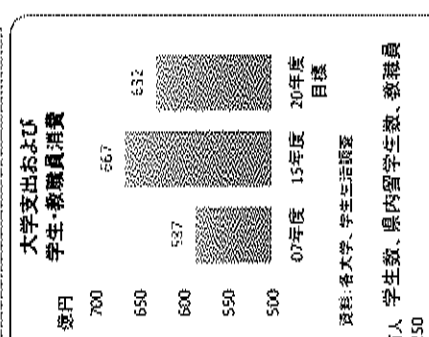
水 産

【主な活動・成果】
 ○水産練り製品の販売促進
 ・「長崎かんぼこ王国」長崎かんぼこ王国推進委員会設立
 ・「長崎おでん」等の商品化・販売、「ちやべりくん」おでん電車、おでん
 日調理イベント開催
 ○魚の美味し、まち長崎「シーキングチーム」設置
 ・水産物を長崎観光の有力なコンテンツ化する商品開発の推進
 「魚の美味し、まち長崎 海の幸グルメクーポン」16年12月販売開始

【進捗状況・評価】
 ○水産練り製品の販売・生産額
 15年78億円
 (20年の目標120億円)
 → 魚がなる販売体制強化、
 新たな仕掛けづくり

【今後の主な活動(予定)】
 ○水産練り製品の一層の販路
 拡大に向けた支援
 ○魚のブランド再構築、消費・流通
 拠点の整備検討

水産練り製品の販売・生産額



4分野における主要項目の進捗状況

| 項目 | 当初 | | 現状 | | 資料 | |
|--------|-----------------------|----------------|----------------------|----------------------|---------|-----------------|
| | 2007年 | 2008年 | 2007年 | 2008年 | 2007年 | 2008年 |
| 基幹製造業 | 基幹製造業本体(4社グループ)の生産高 | 08年度) 5,160億円 | 15年度) 4,384億円 | 前年度比1.9%減 | 5,160億円 | 長崎都市経営戦略推進会議 |
| | 地元受注率10%ポイント引上げ | 08年度) 44.0% | 15年度) 44.5% | 前年度比1.0ポイント上昇 | | |
| | 4社グループの地元発注額 | 08年度) 1,878億円 | 15年度) 1,875億円 | 前年度比16.1%増 | | |
| | 雇用総数 | 08年度初) 11千人 | 16年度初) 9,5千人 | 前年度比10.0%増 | | |
| | 観光消費額 | 08年) 865億円 | 15年) 1,368億円 | 前年比10.1%増 | 1,300億円 | 長崎市文化観光部 |
| | 観光客数 | 08年) 556万人 | 15年) 669万人 | 前年比6.1%増 | 700万人 | |
| | 宿泊者数(延べ滞在数) | 08年) 246万人 | 15年) 288万人 | 前年比5.0%増 | 350万人 | 長崎国際観光コンベンション協会 |
| | 外国人延べ宿泊者数 | | 15年) 34万人 | 前年比59.2%増 | | |
| | コンベンション開催件数 | | 15年) 1,480件 | 前年比45.2%増 | | |
| | コンベンション参加者数 | | 15年) 33万人 | 前年比35.3%減(14年団体等が要因) | | |
| 観光 | 外航クルーズ客船寄港数 | | 16年) 197隻 | 前年比52.7%増 | | |
| | 外航クルーズ客船乗客・乗員数 | | 16年) 71万人 | 前年比65%増 | | |
| | 主要観光施設入場者数 | | 16年) 101万人 | 前年比15.0%減(通報) | | 長崎市文化観光部 |
| | アンケート | | 16年) 27.3万人 | 前年比2.2%増 | | |
| | 軍艦島 | | 16年1~11月) 48.4万人 | 前年比5.5%増 | | |
| | 夜景観光 | | 15年度) 1,765万人 | 前年度比1.1%増 | | 長崎電気軌道 |
| | 交通機関 | | 15年度) 1,368万人 | 前年度比1.5%減 | | 長崎市タクシー協会 |
| | タクシー乗客数 | | 15年度) 811万人 | 前年度比3.8%増 | | JR九州長崎支社 |
| | JR長崎駅乗降客数 | | 15年度) 311万人 | 前年度比3.3%増 | | 長崎空港ビルディング |
| | 長崎空港乗降客数 | | 15年度) 271万台 | 前年度比2.7%増 | | 県道路公社 |
| 水産 | 有料道路利用台数 出島道路 | | 16年) 90万人 | 前年比2万人減 | | 長崎市文化観光部 |
| | イベント観客数 | | 16年) 5万人 | 前年比17万人減(熊本地震で縮小) | | |
| | 総り製品販売・生産額 | 07年) 60億円 | 15年度) 78億円 | 前年度比5億円増 | 120億円 | |
| | 長崎かんぼこ王国 | | 15年度) 正会員16社、賛助会員33社 | | | 長崎かんぼこ王国 |
| | 会員数 | | 15年度) 1.5億円 | 前年度比0.2億円増 | | |
| | 長崎おでん | | 15年度) 2億円 | 前年並み | | |
| | ちゃポリタン | | 15年度) 667億円 | 08年度比80億円増 | 632億円 | 長崎経済研究所推計 |
| | 学生・教職員消費及び大学支出 | 08年度) 587億円 | 16年5月) 14.8千人 | 07年度比1.6千人減 | | 学校基本調査、各大学 |
| | 学生数3000人、教職員300人増 | 07年度) 学生16.4千人 | 16年5月) 3.8千人 | 07年度比0.8千人増 | 3000人 | 長崎留学生支援センター |
| | 留学生数(日本学生支援機構まとめ、県内) | 07年度) 教職員3.0千人 | 16年5月) 1,412人 | 08年比6人減 | | 長崎経済研究所推計 |
| 地域内産出額 | 留学生数(日本学生支援機構まとめ、県内) | 07年度) 3兆83百億円 | 13年度総計) 3兆85百億円 | | 3兆59百億円 | 長崎県民経済計算 |
| | 県内総生産(名目) | 07年度) 4兆45百億円 | 13年度総計) 4兆39百億円 | | | 長崎労働局 |
| | 有効求人倍率(ハローワーク長崎管内、実数) | | 16年11月) 1.01倍 | 前年比0.02ポイント低下 | | |